

根来山げんきの森倶楽部

令和6年7月作業日誌

活動日：令和6年7月21日(日) 9:30～15:00 天気：晴れ 倶楽部員：41人

7月の活動日は猛暑の中の作業となりました。奇しくもこの日は「自然公園の日」。自然と親しみ、保全することなどを目的とした「自然公園法」が制定された記念日だそうです。制定された昭和32年ごろは夏といえどももう少し過ごしやすかったことでしょう。令和の今、夏の暑さは過酷さをますばかりですから、無理することなく自然に親しみ活動を楽しみましょう。

炭焼き

前回の活動日に炭釜に炭材を入れた後6/26～30日の間に炭を焼いていました。

当日はその炭出し作業を9:30～15時前まで休憩・昼食を挟みながら👤2名👤10名で(新人のTさんOさんも参加)実施しました。結果として取れ高29袋；290kgは過去最高記録となりました。

その要因として従来は炭材の幅を握り拳(にぎりこぶし)に切り袋詰めにしていたのを納入先様からの依頼で小さなブロックに切断したので、今まで商品にしていなかった小割れの炭まで袋詰めできることになり、それが【歩留まり】向上に繋がりました。

更に納入先様への配慮から炭材の表皮剥がしの付加作業も加わりましたが全員が🌞暑くて蒸せる環境下、汚れを厭(いと)わずチームワークよく無事に作業を終える事が出来ました。

(西 勝信)



遊歩道整備

今日も暑い。朝から暑い。それでも根来山の上の木陰は下界より若干過ごしやすいような気がします。作業場まで軽トラックの荷台で感じる風は、なお気持ちいいですね。最近、ダニの被害で高熱が出た方がおられるとのことで、開始前に参加者の両足首に、Aさんが虫よけスプレーを掛けてくれました。実は私も去年の夏、熱は出なかったものの、作業後に腰から首まで上半身全部、赤い点々だらけになったんですよね。多分ダニだと思うのですが、悪い虫が服の中に入って歩き回ったんでしょうね。見苦しいブヨブヨボディなので腕だけ写真を見せましょうか。モザイクなしなので、嫌いな方は閲覧注意です。油断大敵、皆さん気をつけてくださいね。

さて、本日の作業ですが、大雨の後には恒例の遊歩道の補修です。斜面が崩れた部分の土を鍬やスコップで掻き、それを道のえぐれた部分に盛って、テラーなどが安全に走れるように平らに均します。さらに、崩れやすい部分に横木を当て、杭を打って固定します。重たい掛矢の連続打ちはしんどいので、順番に代わるがわる打ちました。場所によっては2本の横木を斜面に沿わせて高さを稼ぎます。ついでに、朽ちてきた古い横木も新しい丈夫なものに交換しました。お昼を挟んで、午後はプレーパーク付近に仮置きされた丸太を、子供たちの安全確保のため広場まで移動させ、少し早めの時間に終了です。（楠 正暢）



閲覧注意！！



あじさい剪定

あじさい広場にある37株のあじさいの手入れを参加者5名で行いました。最初にリーダーの方から、目安にする長さに切った竹の棒を使い樹形を80cmの高さの扇形にする、基本は花の下1節目か2節目の下で切るが、高さを調節するために花の下や3節目の下で切ってもよい、枯れた枝なども取り除き風通しを良くする、地面についている枝は根元から切るなどの説明を受け、午前中は剪定、午後からは切った枝などの片づけをしました。

剪定をしていて、節目から出ている脇芽の大きさが花の下3節目、2節目の順に大きい枝が多いと思いました。また、枯れた枝を取り除くとすっきりとし、あじさいが喜んでるように感じました。今回の作業を参考にして、自宅のあじさいも剪定をしたいと思います。

暑い中、水分補給、塩分補給をし、汗だくになりながらも楽しく作業ができました。来年、きれいに咲いたあじさいを見られるかな・・・楽しみです。（寺下 さちえ）



うるし谷整備

- ①漆谷入り口斜面の竹の伐採。
- ②榎の伐倒、枝払い、子切り。通路草刈り。
- ③風倒木の子切りおよび集積。
- ④アカメガシワの立ち枯れ木の伐倒、子切り。

宮本 陽一

ゆきんコラシ

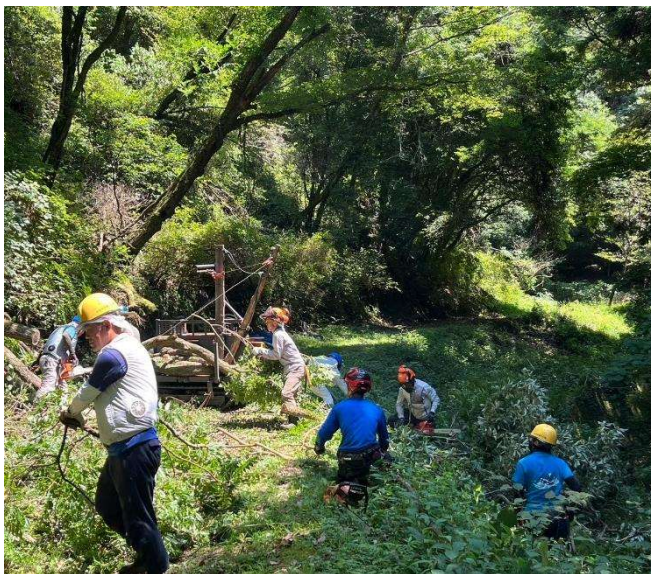
今回、うるし谷を訪問した時に
見つけたこのオブジェが印象に残り
ました！作業で伐採した木で作ったそう。すご
い(^)！！

さて、ここで問題です。これは何でしょう？（作
者さんは何のつもりで作ったでしょう？笑）

①ワシ②ニワトリ③モアイ④ゴジラ



森林整備



大谷池から根来寺に抜ける道に倒れ込んだ木の処理と、炭材となるカシの木の伐採作業を行いました。

1名は林内作業車の操作をし、他の者は倒木枝を落としたり、炭材や薪にしやすいサイズに印を付けカットしていきます。炭材となる長さ120センチに切りやすいように120×3の360センチ程度に倒木を切り、それにワイヤーをかけて林内作業車のウィンチで引っ張り出して積み込む作業の繰り返しです。

ウィンチで引き上げる際に、木の重さで作業車が傾いたり思う方向に荷台に引っ張り上げられなかったり、そのところが一番難しく危険な作業であると感じました。

午前午後とかなり炭材が集められたのではないかと思いますのですがいかがでしょうか？げんきの森のこれらの木が炭となって、更にその炭が神戸まで運ばれて、珈琲豆の焙煎に使われ、知らない誰かの元に珈琲が届くと想像すると作業も楽しくなります。と言いたいところですが、とにかく猛暑日の中風もほとんど吹かない場所での作業でしたので滝汗をかきながらの作業でした。

皆様お疲れ様でした。（岩田 禎子）

雨が降りません。

県内でも内陸の方では夕立もあるようですが、げんきの森ではいつから降ってないのでしょうか。

地球温暖化の影響がいろいろ目に見えてきてますが、緑の森が広がるげんきの森は下界よりは少しは過ごしやすく感じます。沸騰する大地の温度を抑える効果が森にはあるのでしょうか。

この暑さの中でも毎日げんきの森を歩きに来られる方がたくさんいらっしゃいます。

そんなみなさんのためにも過しやすい心地よい森の環境を整えることは大切なことだと思います。

岡田 和久

近畿地方 3か月予報（08月～10月）

2024年07月23日14時00分 大阪管区気象台 発表

08月～10月	気温	平均気温は、高い確率70%です。
	降水量	降水量は、近畿太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
08月	天候	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率60%です。
09月	天候	天気は数日の周期で変わるでしょう。
	降水量	降水量は、近畿太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
10月	天候	近畿日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。
	降水量	降水量は、近畿太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。

編集：谷藤 秀子